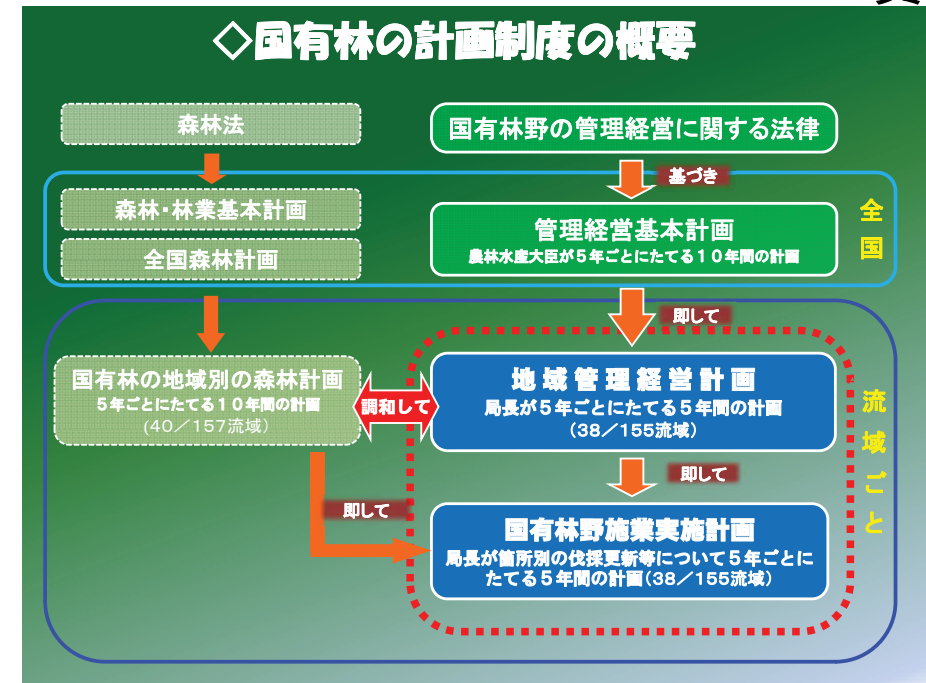




I 一斉変更の概要

「国有林野の管理経営に関する基本計画」、「国有林野管理経営規程」等の一部改正を踏まえ、「地域管理経営計画」及び「国有林野施業実施計画」の一斉変更を行います。

- 計画事項の追加
 - ①「公益的機能維持増進協定に基づく林道の開設その他国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林の整備及び保全に関する事項」(地域管理経営計画)
 - ②「公益的機能維持増進協定の名称及び区域」(国有林野施業実施計画)
 - ③「森林共同施業団地」(国有林野施業実施計画)
- 計画事項の変更

「流域管理システムの推進に必要な事項」を「流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項」に変更(地域管理経営計画)
- 記載内容の変更

「国有林野の管理経営に関する基本的な事項」(地域管理経営計画)

 - ①「国有林野の管理経営の基本方針」
 - ②「機能類型に応じた管理経営に関する事項」
 - ③「森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項」

国有林野の管理経営に関する基本的な事項

◇国有林野の管理経営の基本方針

◇機能類型に応じた管理経営に関する事項

～機能類型を3区分から5区分に見直します～

現在の機能類型		新たな機能類型	
① 国土保全 林	国土保全タイプ	① 山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備 エリア
	気象害防備		気象害防備 エリア
	生活環境保全	② 自然維持タイプ	
② 森林と 人との共生 林	水源涵養タイプ	③ 森林空間利用タイプ	
	自然維持タイプ	④ 快適環境形成タイプ	
	森林空間利用タイプ	⑤ 水源涵養タイプ	
③ 資源の循環利用林			

◇国有林野の管理経営の基本方針

- 個々の国有林野を重点的に発揮させる機能によって5つに類型化し、それぞれの機能区分ごとに公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を推進
- 森林の取扱いに当たっては、林木だけでなく下層植生や動物相、表土の保全等森林生態系全般に着目して公益的機能の向上に配慮
- 国有林野事業の持つ組織・技術力等を活用し、民有林への指導やサポート等を行うなど我が国の森林・林業の再生へ貢献

◇機能類型に応じた管理経営



山地災害防止タイプ

- 災害に強い国土基盤の形成
- 山地災害防止機能及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき国有林野
- 安全で快適な国民生活を確保することを重視
- 「土砂流出・崩壊防備エリア」「気象害防備エリア」に区分
- 地質や地形等の地況、森林現況等を踏まえ、適切な間伐等を推進



自然維持タイプ

- 生態系としての森林の重要性を踏まえた生物多様性の保全
- 生物多様性の保全機能の発揮を第一とすべき国有林野
- 森林の整備に当たっては、原則として自然の推移に委ねる
- 野生動植物の生息・生育環境の保全等に配慮した管理経営



森林空間利用タイプ

- 国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成
- 保健・文化・レクリエーション機能の発揮を第一とすべき国有林野
- 育成複層林へ導くための施業の積極的な導入により針広混交林の造成を図る
- 景観の向上や野外レクリエーションに考慮



快適環境形成タイプ

- 騒音や粉塵等から地域の快適な生活環境を保全
- 快適環境形成機能の発揮を第一とすべき国有林野
- 保全対象と当該林分の位置関係、森林の現況等を踏まえた施業管理を実施



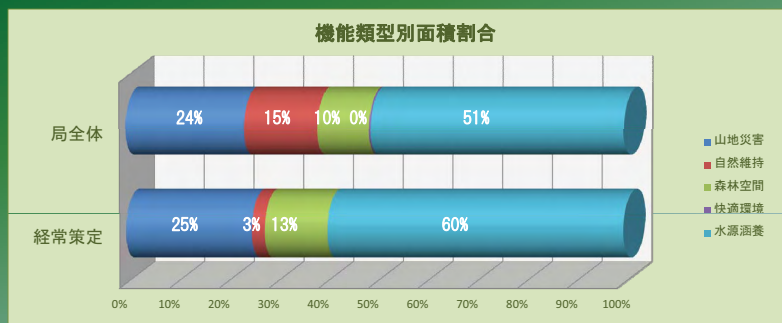
水源涵養タイプ

- 良質な水の安定供給を確保
- 水源涵養機能を全ての国有林野において発揮が期待される基礎的な機能と位置づけ、前記のタイプに掲げるものを除く全ての国有林野
- 根系や下層植生の発達を促すための適切な間伐
- 育成複層林へ導くための施業及び長伐期施業の推進を図り、健全な林分を育成



◇機能類型別面積

機能類型別面積 (単位:ha)						
	山地災害	自然維持	森林空間	快適環境	水源涵養	計
局全体	73,965	45,541	32,394	909	157,935	310,744
経常策定	12,001	1,191	5,801	—	28,358	47,351



◇森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項

1 取り組みの基本的な方針

- 流域森林・林業活性化協議会等の場を通じて、府県、市町村等との密接な連携
- 地域の実情等を考慮しながら日常的な業務運営等を通じて推進
- 国有林の組織・技術力、資源を活用し民有林へ支援
- 我が国の森林・林業の再生に貢献

2 取り組みの方法

- 流域内で優先的に取り組むべき課題を整理し、府県、市町村、地域住民等の要望を踏まえ、以下の事項について取組事項を整理のうえ実施
 - ① 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及
 - ② 林業事業体の育成
 - ③ 民有林と連携した施業の推進
 - ④ 森林・林業技術者等の育成
 - ⑤ 林業の低コスト化等に向けた技術開発
 - ⑥ その他

◇公益的機能維持増進協定に基づく林道の開設その他国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全に関する事項

1 協定の締結に関する基本的な方針

- 国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るため必要
- 民有林野の森林所有者等と公益的機能維持増進協定を締結
- 国有林が当該協定に係る森林の整備及び保全を実施

2 民有林野の整備及び保全に関する事項

- 民有林野の森林所有者等へも原則として相応の費用負担
- 合理的な役割分担の下での国有林野と一体的な森林の整備及び保全を実施

◇森林共同施業団地

府県	森林計画区	箇所
島根県	斐伊川	4
	江の川下流	11
	高津川	8
広島県	太田川	3
	江の川上流	1
兵庫県	揖保川	2
和歌山県	紀中	1
京都府	由良川	1
岡山県	高梁川下流	1
三重県	尾鷲熊野	1
鳥取県	千代川	1
山口県	山口	2
計		36

※水色は、今回策定計画区



Ⅱ 計画の概要

◇主要事業の総量

内 訳	新 計 画	現 計 画	増 減 率
主 伐	96千㎡	27千㎡	356%
間 伐	435千㎡	657千㎡	66%
更 新	235 ha	140 ha	168%
林道(開設)	26,120 m	54,680 m	48%
林道(改良)	8,715 m	20,953 m	42%
治山(保全施設)	69箇所	48箇所	144%
治山(保安林整備)	238ha	894ha	27%



主伐指定林分
(西谷国有林：尾鷲熊野)



林業専用道
(西山国有林：湖南)



山腹工施工地
(那岐山国有林：吉井川)

◇前計画に対する実績

種 類	計 画	実 績	実施率
主 伐	27 千㎡	8 千㎡	31 %
間 伐	657 千㎡	679 千㎡	103 %
更 新	143 ha	70 ha	49 %
林道(開設)	54,680 m	9,909 m	18 %



間伐実行箇所
(大葉山国有林：萩)



更新箇所
(白水山国有林：吉井川)



更新箇所
(鞍馬山国有林：淀川上流)

国有林野の維持及び保存に関する事項

◇森林保全巡視



林野巡視
(船通山国有林：斐伊川)



地域住民等とのクリーン作戦
(別所国有林：湖南)

◇森林病虫害等被害対策

マツクイムシ防除地上散布
(松原国有林：若狹)



カシノナガクイムシくん黒処理
(嵐山国有林：淀川上流)

◇保護林

本計画において
「林木遺伝資源保存林」11.98ha
「植物群落保護林」5.86ha
を拡充



船通山林木遺伝資源保存林
(船通山国有林：斐伊川森林計画区)

種 類	新計画		局全体(参考)	
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
森林生態系保護地域	—	—	3	11,633
森林生物遺伝資源保存林	—	—	2	2,309
林木遺伝資源保存林	3	137	21	872
植物群落保護林	8	91	43	3,926
特定動物生息地保護林	—	—	4	227
特定地理等保護林	—	—	1	30
計	11	228	74	18,997

◇ニホンジカ等の被害対策



罾によるシカ捕獲
(鞍馬山国有林：淀川上流)



シカ被害対策の柵設置
(鞍馬山国有林：淀川上流)



剥皮被害防止テープ巻き
(池内国有林：若狭)

◇巨樹・巨木の保全



三本スギ
(大悲山国有林：淀川上流)

林産物の供給に関する事項

◇低コストで効率的な木材の生産 (列状間伐＋高密度の路網＋高性能林業機械)



◇木の文化を支える森林づくり



文化財継承林 (ケヤキ)
(那岐山国有林：吉井川)



樹皮採取対象林
(鞍馬山国有林：淀川上流)

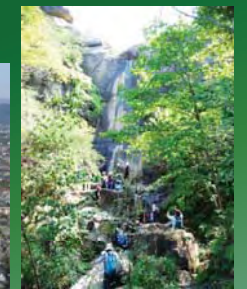
種 類	箇所	面積(ha)	設定箇所(森林計画区：国有林)
文化財継承林	4	6.63	淀川上流：鞍馬山、御藪、阿弥陀ヶ峯 吉井川：那岐山
樹皮採取対象林	10	78.47	湖南：別所、三上山 淀川上流：鞍馬山、南禅寺山、大日山 大和・木津川：地獄谷、野山 尾鷲熊野：大又 吉井川：黒木、那岐山
古事の森	3	3.63	淀川上流：鞍馬山 大和・木津川：地獄谷、野山

国有林野の活用に関する事項

◇保健・文化・教育的 な活動への利用促進



七里御浜風景林
(七里御浜国有林：尾鷲熊野)



近江湖南アルプス自然休養林
(一丈野国有林：湖南)

種 類	新計画		局全体(参考)	
	箇所(計画区)	面積(ha)	箇所	面積(ha)
自然観察教育林	1 (大和・木津川1)	41	15	1,420
森林スポーツ林	—	—	3	300
野外スポーツ地域	1 (斐伊川1)	10	10	1,665
風景林	14 (若狭2、湖南2、淀川上流2、大和・木津川3、 尾鷲熊野1、斐伊川1、吉井川3)	910	85	11,652
風致探勝林	3 (斐伊川1、吉井川2)	673	7	1,737
自然休養林	2 (湖南2)	1,823	9	6,035
計	21	3,457	129	22,809

国民参加による森林の整備に関する事項

◇自主的な森林整備等へのフィールドの提供

◇森林環境教育の推進

種類	箇所	面積 (ha)	設定箇所（森林計画区：国有林）
ふれあいの森	8	483.51	湖南：馬ヶ瀬山、一丈野、伊崎 淀川上流：長刀坂、安祥寺山 大和・木津川：地獄谷 尾鷲熊野：七里御浜
社会貢献の森	3	20.28	淀川上流：本山 大和・木津川：畝傍山 斐伊川：大志戸
多様な活動の森	3	41.65	若狭：松原 吉井川：桧山
遊々の森	4	76.34	湖南：一丈野 淀川上流：衣笠山、阿弥陀ヶ峰 大和・木津川：大亀谷

※青色文字は、今回計画に追加記載した設定場所



近江馬ヶ瀬山ふれあいの森
(馬ヶ瀬山国有林：湖南森林計画区)

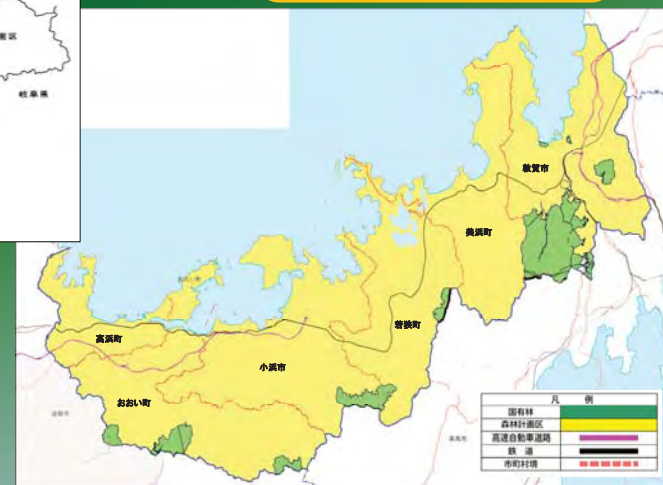


森林教室
(那岐山国有林：吉井川森林計画区)

若狭森林計画区

国有林野面積 7,421ha

山地災害防止タイプ 35%
水源涵養タイプ 60%
自然維持タイプ 4%
森林空間利用タイプ 1%



伐採計画

主伐 1,286m³

間伐 32,169m³



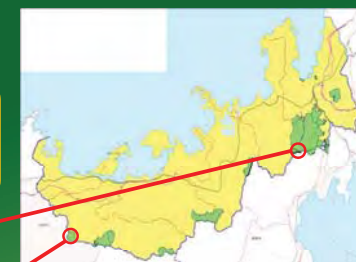
一ツ谷国有林60年生



大岩山国有林53年生

保護林

林木遺伝資源保存林 93ha
植物群落保護林 4ha
2箇所 97ha



黒河山林木遺伝資源保存林（黒河山国有林）



野鹿谷ジャクナグ植物群落保護林（野鹿谷国有林）

保護林の拡充

面積拡充
81ha→93ha



スギ、フナ、ミズナラ、イヌシ
デ等の林木遺伝資源の保存



黒河山林木遺伝資源保存林の拡充箇所

レクリエーションの森

風景林 2箇所 56ha



松原風景林（松原国有林）



天筒山風景林（手筒山国有林）

松林保全の取組

日本三大松原の一つ「気比の松原」
における松林保全の取組



マツクイムシの防除対策



有識者による検討委員会



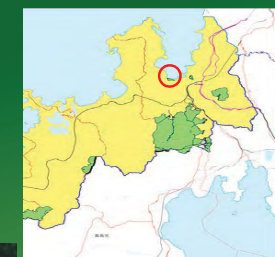
地域住民へのシンポジウム

フィールドの提供

多様な活動の森 1箇所 32ha



松原国有林



湖南森林計画区

国有林野面積 6,920ha

山地災害防止タイプ	41%
水源涵養タイプ	20%
自然維持タイプ	4%
森林空間利用タイプ	35%



琵琶湖畔にある奥島山国有林



伐採計画

主伐 2,957m³

間伐 32,963m³



大河原国有林5年生



三郷山国有林3年生

保護林

植物群落保護林 1箇所 30ha

高齢級のカシ、シイ等の照葉樹を主体とした針広混交林の保護



逢坂山照葉樹植物群落保護林（関守国有林外）



カワウの被害対策



森林被害



カワウの営巣



ボランティアによる森林整備

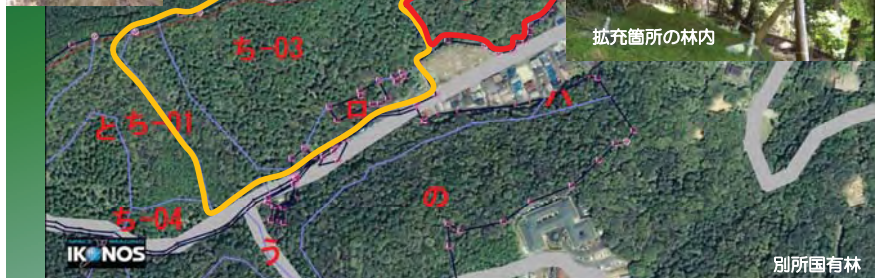


カワウ抑制のための歩道整備

文化財保全への貢献

檜皮採取対象林の拡充

面積拡充（全対象地計）
41ha → 42ha



レクリエーションの森

自然休養林	2箇所	1,823ha
風景林	2箇所	177ha
その他	1箇所	0ha
	5箇所	2,000ha



近江湖南アルプス自然休養林（一丈野国有林）



近江富士風景林（三上山国有林）

フィールドの提供

ふれあいの森	3箇所	181ha
遊々の森	1箇所	53ha



伊崎国有林



一丈野国有林

淀川上流森林計画区

国有林野面積

1,839ha

山地災害防止タイプ	22%
自然維持タイプ	1%
森林空間利用タイプ	46%
水源涵養タイプ	31%

